

第35回 郷土文化講演会

「人形浄瑠璃の隆盛と、文楽人形の進化を探る」



大阪が世界に誇る人形劇、人形浄瑠璃。
なぜ大阪に生まれたのか、その使命は何か？
浄瑠璃義大夫節のスタイルの完成後、人形とコラボ！
人形とともに舞台も進化した、
そして世界に類のない総合舞台芸術に進化した。
その謎を探し、人形浄瑠璃を体験しよう！

菱田雅之／大江雅之助

- 1962年 文楽座付人形細工師 菱田宏治(由良宏)の長男として生まれる。
- 1980年 四世大江巳之助に内弟子として入門。
- 1984年 大阪芸術大学卒業。
- 1986年 国立文楽劇場座付人形細工師となる。
- 1992年 師匠である大江巳之助と共に個展開催。
- 1996年 独立し、文楽人形工房を開設。
- 2008年 文楽人形 雅舎を起業。



【乙女文楽】

大正時代の終わり頃、大阪で誕生した乙女文楽。
男性が3人で操る文楽人形とほぼ同じ大きさ、重さの人形を、
女性が1人で操り、遣い手と人形が一体となって演じます。

日時場所：平成29年2月25日(土) 14:00~15:30 (開場 13:30)
大阪商業大学 ユニバーシティホール蒼天

資料代：500円

申込み：不要

出演者：文楽人形細工師 菱田雅之
乙女文楽座 【演目】「二人三番叟」他

問合わせ先

河内の郷土文化サークルセンター事務局 (大阪商業大学 谷岡記念館内)
〒577-8505 東大阪市御厨栄町4-1-10
TEL 06-6785-6139 FAX 06-6785-6237
主催 河内の郷土文化サークルセンター

